

コンクリート補修 広島フォーラム開く

200人が劣化の基本など学ぶ

J C M A

（一社）コンクリートメンテナンス協会（JCM A、徳納武使会長）が5月から8月までに全国



フォーラムのもよう

25カ所で開催中の「コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2013」の9カ所目となる広島フォーラムが6日、南区民文化センターで開かれ、約200人の参加者が劣化のメカニズムを学ぶとともに、亜硝酸リチウム圧入や塗膜型の剥落防止工法、金属溶射による支那防食工法などそれぞれの劣化症状に応じた補修工法の説明に耳を傾けた。

フォーラム冒頭で代表者挨拶に立った徳納会長は、補修方法選定のセオリーを簡単に説明したのち、「劣化要因をきちんと認識して補修のシナリオを描き、調査・診断から設計、工事へと進

た。講演では、極東興和の江良和徳工学博士がトップバッターとして登場。「コンクリートの劣化と補修工法選定の考え方」と題し、劣化メカニズムの基本から症状別の補修工法選定の考え方について詳しく説明したほか、同協会が推進し、国内でも多く採用されている亜硝酸リチウムの圧入工法の概要についても解説した。

第2部は「コンクリート剥落防止と塗膜型剥落防止システムについて」で、講師は日本ベント販売のコンクリート診断士・中丸大輔氏が担当。最近、広島市内で頻発しているコンクリート

めばコンクリート補修は決して難しくくない。本日は我々が試行錯誤の末に辿り着いた補修の考えや対策工法についてご説明をさせていただきます。ただ、皆さんの業務の組み立ての参考としていただければ幸いです」と呼びかけ

安全最優先を誓う

竹中工務店広島支店

竹中工務店広島支店（藤田敏郎支店長）と同社安全衛生協力会（庄田数之会長）共催による「2013年度安全衛生大会」が6日、広島市中区の広島Y.M.C.A.国際文化ホールで開かれた。約310人の関係者が集まり、すべての仕事で安全最優先を誓い、合

所づくりにご協力いただき、年末まで無災害達成に絶大な支援をお願いしたい」と呼びかけた。

これを受け、本社の岡田正徳副社長は「安全が保たれなければ良い仕事はできない」と安全最優先の重要性を再度強調。庄田会長は技能工養成の観点もふまえ「快適職場の実現」に理解と協力を求めた。

理事長に武村氏を再任

岡山県浄化槽施工協組総開



総代会のもよう

【岡山】岡山県浄化槽施工協同組合（武村良夫理事長）は、岡山市北区のピュアリティまきびで第35回通常総代会を開催した。

はじめに、武村理事長が挨拶に立ち「我々の業界も他の業界についても、デフレ脱却に向けて積極的な金融緩和策が講じられており、景気が穏やかに持ち直している。しかし、地方への波及効果はいまだ十

分とは言えない。は相変わらず厳状の中で、円安油や原材料価格が懸念される。この後の継続的な業界が確信を持っていない。加価値化等への支に積極的に取り組む新たな活路を切り、合員全員で創造力・柔軟性を発揮

をイメージし、建より身近に感じれば、見学会を機が快適な現場を設業により理解関心を持つことと述べた。

山口県建築協会などが見学会

建設現場をより身近に

柳井商工高校の生徒ら招く

【防府】（一社）山口県建築協会（砂川敏男会長）は、（一社）山口県建設業協会（井森浩視会長）や県土木

建設部と今年もイメージアップ推進事業の一環として、県内の建築関係高校生を対象とした現場見学会を開催した。今回は6月4日～18日の日程で、県発注の「平成24年度東岐波県営住宅新築工事」と「維新百年記念公園陸上競技場」の2カ所を見学。

初日の4日は、柳井商工高校の2・3年生42人と引率の教諭が参加。最初に東岐波県営住宅新築工事現場を訪れ、現場隣の集会所で県建築指導課の十河義典主任が高校生を前に挨拶し、「実際に工事中の現場を自分の目で見てもらい、これから完成する建物

をイメージし、建より身近に感じれば、見学会を機が快適な現場を設業により理解関心を持つことと述べた。

を目的に県営住宅設計システムを建築物の平面、観、階高などを設計方法をマニすること、効果スト削減を図ることでは2DをIPから4Dまで4種類、県住は1DKのPを加えたらPの最適なプランしている」と施



建物内を見学する生徒ら

国局

経済は一部持ち直し